

「鶴岡型小中一貫教育基本計画(案)」に 日、パブコメを送付しました。加藤鉦一

①「小中一貫教育」の「可否」について、市民の意見と議論、及び「子どもの意見表明」が必要である。

戦後日本の教育制度の根幹である単線型学校制度から複線化となり、しかも学校統廃合

につながる重大問題である「小中一貫教育」について、広く市民の意見も聞かず、市民との議論もされずに、市総合教育会議で「令和7年度からスタートさせる」と決めたことは、上からの一方的な、権力主義的な決定ではないか。

とりわけ、学校の主体である児童生徒の意見を聞かないで決めたことは、国連「子どもの権利条約」にも、「子ども基本法」にも反する「重大な誤り」である。

②いま教育の最大の課題は、「小中一貫教育」とは別である。

「小中一貫教育」は、広島県呉市が財政破綻を背景に、平成12年度(2000)に、「中高一貫校があるなら小中

一貫校も」と、研究開発学校の指定を受けて導入された。

そして法制化を背景に、少子化と財政的理

由から全国に拡大され、24年が経過し、調査研究が進み、弊害は明らかである。

いま、人類が直面する課題は、地球温暖化、格差拡大、地域紛争と多民族共生、感染症流行など、人類は十分に

対応できていない。教育への期待は、急速な社会変化の中で、未知の問題に立ち向かい、協働で問題を解決する力、主体的に考える力を育てる方向に向

かっている。

学力テストで測られる定型型学力(できる学力、早く効率的に回答する)に対して、現実場面での問題を解決する力となる非定型型学力(わかる学力、探究型学習)が、教育の最前線で問われている。

OECDの学習到達度調査(PISA)調査では、日本の生徒の読解力はトップレベルだが、近年同時に行われている生徒の生活満足度の国際比較では、日本の生徒はレベルが低

い。

PISA2018調査では、自分の生活に満足しているとの回答は、日本が50%の生徒

(OECD加盟国平均67%)。困難を解決可能と考えている生徒は、日本59%(OECD平均84%)で、失敗への不安が大きいのは日本77%(OECD平均56%)と、OECD加盟国の方が自己への信頼感が高い。(PISA2018「N」JPN_Japanese)

フィンランドの生徒は、読解力と主観的幸福感が同時に実現されており、教育目標である「将来の社会生活に活きる力」が、注目されている。(『国際的に見る教育のイノベーション』日本の学校の未来を俯瞰する』勁草書房2023.11.20)



い。

PISA2018調査では、自分の生活に満足しているとの回答は、日本が50%の生徒

(OECD加盟国平均67%)。困難を解決可能と考えている生徒は、日本59%(OECD平均84%)で、失敗への不安が大きいのは日本77%(OECD平均56%)と、OECD加盟国の方が自己への信頼感が高い。(PISA2018「N」JPN_Japanese)

フィンランドの生徒は、読解力と主観的幸福感が同時に実現されており、教育目標である「将来の社会生活に活きる力」が、注目されている。(『国際的に見る教育のイノベーション』日本の学校の未来を俯瞰する』勁草書房2023.11.20)

OECDの学習到達度調査(PISA)調査では、日本の生徒の読解力はトップレベルだが、近年同時に行われている生徒の生活満足度の国際比較では、日本の生徒はレベルが低い。

PISA2018調査では、自分の生活に満足しているとの回答は、日本が50%の生徒

(OECD加盟国平均67%)。困難を解決可能と考えている生徒は、日本59%(OECD平均84%)で、失敗への不安が大きいのは日本77%(OECD平均56%)と、OECD加盟国の方が自己への信頼感が高い。(PISA2018「N」JPN_Japanese)

フィンランドの生徒は、読解力と主観的幸福感が同時に実現されており、教育目標である「将来の社会生活に活きる力」が、注目されている。(『国際的に見る教育のイノベーション』日本の学校の未来を俯瞰する』勁草書房2023.11.20)

OECDの学習到達度調査(PISA)調査では、日本の生徒の読解力はトップレベルだが、近年同時に行われている生徒の生活満足度の国際比較では、日本の生徒はレベルが低い。

PISA2018調査では、自分の生活に満足しているとの回答は、日本が50%の生徒

(OECD加盟国平均67%)。困難を解決可能と考えている生徒は、日本59%(OECD平均84%)で、失敗への不安が大きいのは日本77%(OECD平均56%)と、OECD加盟国の方が自己への信頼感が高い。(PISA2018「N」JPN_Japanese)

ふるさと賛歌 23

八色木薬師堂にある文化財②

軍配団扇



軍配は、相撲の行司が力士の立合いや、勝敗を裁定するのに用いる道具である。

形は、武将が戦の指揮に用いた団扇の形をした軍配に同じく、金粉を溶いた金泥(こんでい・きんでい)で「天下太平国家安全」「二味清風」などと記し、長打紐をつける。

大正7年(1948)に八色木青年団が求めたものである。

念仏棚(念仏壇)

薬師堂に月日を定め、念仏講を開いた。



念仏講は娯楽の場でもあった。念仏錢をつのり、村々の祭りには祈願棚(念仏壇)を担いで、あめ菓子を配り、賽銭を集めて祈願行事などに使われていた。獅子踊りの興行の際には、よくついて行ったと思う。

嘉永3年(1850)2月、永慶寺に念仏碑を建立した。

審査申は、「令和の日本型学校教育」で、全ての子供たちの可能性を引き出す、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備による「個別最適な学び」と、「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指すとされた。

鶴岡市の学校教育の課題は、小中一貫教育をやめて、小規模校を存続し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を優先し、「学びの共同体研究会」や、オラン

八色木薬師堂にある文化財②の軍配団扇。心形の団扇と、通常の団扇が写っている。

軍配は、相撲の行司が力士の立合いや、勝敗を裁定するのに用いる道具である。

形は、武将が戦の指揮に用いた団扇の形をした軍配に同じく、金粉を溶いた金泥(こんでい・きんでい)で「天下太平国家安全」「二味清風」などと記し、長打紐をつける。

大正7年(1948)に八色木青年団が求めたものである。

鈴木重雄(八色木)

念仏は、心に仏の姿や功德(くどく)を観じ、口に仏名を唱える。それにより極楽浄土で往生できるという。

念仏壇は安政5年(1858)7月に求めた。

念仏講は娯楽の場でもあった。念仏錢をつのり、村々の祭りには祈願棚(念仏壇)を担いで、あめ菓子を配り、賽銭を集めて祈願行事などに使われていた。獅子踊りの興行の際には、よくついて行ったと思う。

嘉永3年(1850)2月、永慶寺に念仏碑を建立した。

以下、全部で13項目の意見(A4・8頁)を付して、

「基本計画(案)から『鶴岡型小中一貫教育』を導入する理由を見いだすことは出来ず、実施されれば取り返しのつかない弊害が、平成大合併以上に生ずると考える。」

と述べて、基本計画案の撤回を強く求めました。

令和3年1月の中教



令和3年1月の中教

令和6年産米の生産の目安

11月30日に県から示された鶴岡市の令和6年産米の「生産の目安」は、前年比46㌔増（0・09％）の5万956㌔で、面積換算で同23ha減（▲0・26％）の8665haとなりました。

10㌔当たり反収は、前年度586kgから588kgに2kg増です。鶴岡市農業振興協議会（会長・皆川治市長）の臨時総会が2日、グランドエル・サンで開かれ、「生産の目安」の配分方法等が承認されました。

令和6年度産地交付金の使途は、5年度と同様としました。

県設定枠では、「米粉用米助成」が新設され、10㌔変動1万円で、ケイ酸質肥料等の散布が要件となります。

県転換作物新規拡大支援の大豆、飼料用とうもろこし（上限1万円）は、面積が増加していることから廃止されます。

臨時総会に先立ち、市農業発展奨励賞の表彰式が行われ、いとうファーム（矢馳、伊藤稔代表取締役）と、ジエイエイ庄内たがわ藤島農地受託組合（足田勝幸代表理事）に、表彰状が贈られました。いとうファームは、昨年12月に「山形県ベストアグリ大賞」を受賞。農地受託組合は、約100㌔まで受託面積を広げています。

水稻作付率の調整状況

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増減
鶴岡	65.2	65.6	62.9	60.0	58.4	58.3	58.2	60.6	60.4	58.9	56.1	55.8	55.7	▲0.1
藤島	67.9	67.8	64.3	61.3	58.3	58.3	58.3	62.2	62.1	60.6	57.8	57.6	57.4	▲0.2
羽黒	64.5	65.0	62.3	60.2	58.0	57.8	57.7	60.5	60.3	58.9	56.0	55.8	55.6	▲0.2
櫛引	63.8	64.4	62.0	59.8	57.7	57.5	57.6	60.8	60.7	59.2	56.3	56.0	55.8	▲0.2
朝日	64.0	64.6	62.0	59.5	57.7	58.2	58.1	60.1	59.9	58.5	55.7	55.5	55.3	▲0.2
温海	57.1	59.1	58.3	57.3	56.7	56.6	56.7	58.4	58.4	57.0	54.5	54.1	53.8	▲0.3
全市	65.1	65.5	62.8	60.2	58.1	58.1	58.1	60.8	60.7	59.2	56.4	56.1	56.0	▲0.1

※本表は、均等配分に係る作付率に傾斜配分を加味した作付率で、地域別の平均値です。

東田川史跡物語

県民の対応―出し物などに趣向

青山 崇

【1873（明治5）

「1873（明治5）年本格的巡幸が始まって以来、都府県に巡幸され功德をもたらされたが、山形県には巡幸がなく、県民は悲しみに暮れていた。しかし今般決定し、心待ちにしている」（山形新聞投

民は好意的だった。特に行列が通過する沿道となる各地域では、天皇を迎えるにあたって、ご覧いただく出し物やお土産に趣向を凝らす準備が進められた。

西田川郡上肴町の安部清太郎は、カツボレ踊りを供すとして連夜練習している。

蔵王温泉高湯村では、温泉の湯と風呂を行在所に運び、風呂を沸して天皇に入浴してもらうことにまともり、戸長に申し入れ、早速郡役所へ願ひ出たという。こうした名産や出し物の準備は、次第に地域間競争の様相をも呈し始めた。

何にも供さぬことは実に遺憾のこととて、近在の若者が寄合つて



どこまで本気

アベ派は総会を開いて派を解散することに決めたト。代表者は、派が出来て45年になる歴史を閉じることを、断腸の思いと言っていたが、長い間首相を出すなど最高の良い思いをする事が出来なくなるんだから、言うように正に断腸の思いでしょうヨ。そうなるきっかけがしんぶん赤旗だったから、こちらには腹が煮えくり返る思いなのではないかね。▲報道では、アベ派だけで6、7億円超の裏金だつてサ。45年間ではナンボになるンダヤ。その金で地盤を固めて当選を繰り返し、最大の集団となり、党内でも数の力で権力を握ってきたんでしょ。だから裏金は、次の選挙で当選を勝ち取るために、地方でのバラマキを陰でズーとやってきたと

大弓の引手を供そうと其筋へ願ひ、20余名の若者が懸命に稽古の最中という所もあった。



あま茶で” かつぼれ かつぼれ ”ーこんなもんなの？

いう事だ。だから彼らは、正しい選挙で選ばれたのではない。

▲そのズーと使われてきた裏金の使い方を、党内で調査するんだつてヨ。本当の事が国民の前に出されると思う？去年の統一教会の調べみたいウヤムヤになる事必定でしょうヤ。これは第三者にお願いしなきゃ。ここに岸田の誤魔化しと彼の本気度が表れているんじゃないですか。結果は益々もめることにも。▲実際に裏金はナンボで、どんなところに使われてきたのか。これは政治の分だ。これはそうじゃない・と分けるんだよ。自分らじゃ出来ないヨ。そういう事がどうして可能だったのか。同じ罪を犯さないためには・と対策も考えるんだ。▲アベは、教育基本法に道徳を入れたんでしょ。自民党に政治の道徳はアンメ。 （石川）